



# 湖一小だより

平成28(2016)年11月17日

東近江市立湖東第一小学校

No.13

㊦つつつ学ぶ

㊧のちを大切に思いやる

㊨から強く、たくましく

<http://www2.higashiomori.ed.jp/kot1sho/>

**秋の日は釣瓶落とし（あきのひはつるべおとし）**といったことわざがあるように、夕焼け空が見えたかと思うとすぐに夕闇になる日が早まってきました。今の時代は照明器具も発達し夜でも昼と同じような生活をしてはいますが、昔をそうではなかったわけです。とくに、農業や林業などの戸外での仕事は、日暮れと共に終了しました。江戸時代では冬の間は昼の一時より夜の一時の方が長かったという話も聞きました。そうした暮らしが「**秋の夜長**」という言葉を生んだのではないのでしょうか。

さて、「秋の夜長」と聞いてどんなキーワードがイメージされるでしょうか。「**読書**」「**家族の団らん**」といった言葉が上位を占めそうです。今の世の中は、様々な情報が飛び交い、便利な物が身近にあり、コミュニケーションの取り方も多岐にわたるようになっていきます。ただ、その機器に振り回されていることも事実ではないでしょうか。「秋の夜長」という言葉をきっかけに、テレビやゲーム、携帯やスマホの電源を切って、読書や音楽など、家族が集う、共有する、家族の団らの時間を生み出したいものです。

## つながろう湖一小 深めようきずな

今年のPTA活動テーマである「**つながろう湖一小 深めようきずな**」を受けて、PTA研修部では、夏休みや冬休みなど長期の休みを使っての親子読書の取組、親子対象の教育講演会、湖東地区PTA連絡協議会講演会を実施していただきました。この取組についての保護者の皆様、参加した子供たちの声は、研修部だよりを出していただいていますので、そちらをご覧ください。親子読書では、一様に、ちょっとした読書の時間が親子のふれ合い、団らの一時となったという感想をいただいています。また、「ネット問題について考えよう」と題して、県人権センターからお招きした村井亜矢様にご講演をいただきました。子どもたちも多くの危険をはらんでいることに気づき、自分ならと考える機会を得ました。保護者の皆様も、様々な危険について考える機会であったり、ルール作りの大切さであったりを見直す機会としていただけたと感じています。



**つながる**ことは必要なことです。**きずな**も深めていってほしいと願っています。だからこそつながりやきずながよくない連鎖にならないようにしてほしいのです。お家の方の感想にもあるように、ゆっくりと子どもたちと向き合い、語り合っていたきたいと思います。『親が、スマホの電源を切る。まずは、ここからやな』と講演会後につぶやかれていた言葉が印象的でした。

PTA整備部では、10月15日（土）に第2回の資源回収を予定通り実施していただきました。各町評議員さんを中心に回収作業に取り組んでいただき、ヘムスロイド村駐車場では、例年と同様の量の資源が運び込まれ、整備部・各学級委員長・本部役員の皆さんで積み込み作業を行っていただきました。各町の地域の皆様には、当日まで多くの資源を保管していただきありがとうございました。右のように業者より報告をもらっています。今後ともご協力をよろしくお願いします。

ダンボール(5円)	5, 510kg
新聞(5円)	15, 920kg
雑誌(3円)	6, 090kg
アルミ缶(60円)	120kg
<b>金額</b>	<b>132, 620円</b>

リサイクル促進補助金は、現在申請中です。

こころとからだを自分でみがく取り組み

## ②つつ がんばる湖一っ子      ⑤から強く たくましい湖一っ子

様々な遊びを通して、チャレンジする子ども

毎年6月に運動能力の状況を測定する新体力テストを行っています。1～3年生は4種目（握力・長座体前屈・50m走・ソフトボール投げ）、4～6年生は8種目（左記4種目と、上体おこし・反復横とび・20mシャトルラン・立ち幅跳び）を実施しています。一昨年は、ソフトボール投げやシャトルランに、今年度は、長座体前屈や上体おこしに課題があったと捉えています。

そこでボールを投げてみたくなる遊び場を、体育主任を中心に体育委員会も関わって作り上げました。思いっきり力を込めて投げる場、ねらった的に投げる場、どんどん距離を伸ばしていく場です。遊びを楽しもうとすると自然に投げ方が変わっていきます。腕の振り、体のひねり、踏み出す足の動き方等々が遊びを通して自然に身についていきます。



また、11月29日（火）に実施しますマラソン大会に向けて、中休みに5分間走の取り組みを行っています。2時間目が終わったら、子どもたちは着替えて寒風もものともせず黙々と走っている姿を目にすることができます。

更に1～3年生の子どもたちは、5分間走が終わると鉄棒に一目散です。「じきゅう懸垂（ダンゴ虫）にチャレンジ」という遊びを行っています。脇をしめて肘と膝を曲げてぶら下がります。10秒ぶら下がれたら完成をめざします。このあそびができた子は、「足ぬき回り」「平行棒逆上がり」という遊びにもチャレンジしていきます。



